

教 員 氏 名	内 田 将 平	職 位	助教
最 終 学 歴	名古屋市立大学 大学院人間文化研究科 博士前期課程 修了		
学 位	修士 (人間文化)		
役 職		委員会	連合教務委員会、教職課程委員会、共通教育委員会、ゼミ委員会
担 当 科 目	教育の方法、教育課程論、多文化共生保育・教育論、保育・教育・福祉の制度と理論 I・II、海外幼児教育インターンシップ（ニュージーランド）、保幼小連携総論、教職実践演習、海外の保育、教育実習 I、教育実習指導 I、基礎演習 I・II、総合演習 II A・B、卒業研究演習 I・II、卒業研究		
教科書・教材・教育方法の実践例	1. 双方向型授業設計におけるディープ・アクティブ・ラーニングと ICT 活用の実践 2. 朝鮮幼稚園と内田ゼミとの継続的な相互交流による教育連携活動		
教育研究業績	※2024. 01-2026. 03 【著書】 1. 内田将平（2026）「総合的な活動における『領域「表現」』の視点からの捉え方」三宅茂夫（編）『コンパス保育・教育カリキュラム論』建帛社、pp. 85-96。 【論文】 1. KATO, Ayami& UCHIDA, Shohei（2026）. Exploring Specialized Short-Term Study Abroad: Expectations and Anxieties of Japanese University Students in Early Childhood Education. <i>THE JOURNAL OF WORLDWIDE EDUCATION</i> , Vol. 18, pp. 48-65. （査読あり） 2. 加藤あや美・内田将平（2026）「国際バカロレア初等教育課程（PYP）における言語教育の理念-日本の幼稚園教育要領とのカリキュラム構成の比較を通して-」『名城大学農学部学術報告』第 62 号，pp. 9-14。（査読あり） 3. 内田将平（2024）「How Do German ECEC Teachers Understand the National Curriculum?」『桜花学園大学保育学部研究紀要』第 29 号，pp. 37-48。 【その他】 1. KATO, Ayami/UCHIDA, Masaichi/UCHIDA, Shohei（2026）. Early Childhood Study Abroad: Program Design and Insights. <i>THE JOURNAL OF WORLDWIDE EDUCATION</i> , Vol. 18, pp. 157-159. 2. UCHIDA, Shohei（2025）. A Place for “us” to Be Weaved: A Case Study of <i>Zainichi</i> Korean Kindergarten in Japan. <i>The Korean Conference on</i>		

	<i>Education 2024 Official Conference Proceedings</i>, pp. 529–539. 3. 内田将平（2025）「保育学生は『多文化共生』をどのように捉えようとしているのか：名古屋朝鮮初級学校付属幼稚園との交流を通して」『チャイルドエデュケア研究所 年報』第 22 号, p. 5–6。 4. 内田将平（2025）「戦争と幼児教育——アウシュヴィッツ解放 80 年に寄せて」『幼児教育史学会会報第 40 号』p. 3–4。（<u>依頼あり</u>） 5. <u>内田将平</u>・孔順南（2024）「朝鮮幼稚園における食育の取り組み：民族的アイデンティティの形成に向けて」『チャイルドエデュケア研究所 年報』第 21 号, p. 5–6。 6. 内田将平（2024）「ドイツ語圏における幼児教育の理論と実践の往還」『国際幼児教育学会会報第 78 号会報』p. 10。（<u>依頼あり</u>）
所属学会	日本教育学会、日本教育方法学会、日本保育学会、国際幼児教育学会、コンピュータ利用教育学会、異文化間教育学会